

1. はじめに

2014 年に日本が国連の障害者権利条約を批准して以来、障害者差別解消法の制定をはじめとした国内法の整備が進み、各種の障害者施策の進展がありました。2024 年 4 月には、改正障害者差別解消法が施行され、事業者による合理的配慮の提供が義務化されるなど、条約が私たちを取り巻く社会環境の改善に大きな力となっていることを日々実感しています。

協会は、2026 年 2 月に八王子市の東京たま未来メッセで「第 37 回東京都中途失聴・難聴者の集い」を対面で開催しました。「小さな一歩が誰かの希望に」というテーマにふさわしく、会場には皆さんの元気な笑顔が溢れていました。また、理事会、専門委員会、専門部、サークルの活動や各種の講座・講習会も参加者数がほぼコロナ禍前の状況に戻っています。関係者の努力でオンライン会議での要約筆記、ネットを活用した広報など、新たな知見も得られました。改めてご支援・ご協力いただきました皆さまにお礼を申し上げます。

協会は 2025 年度も聴覚障害者の社会参加の推進、福祉の向上を目指して、東京都福祉局と次年度の予算懇談会や都議会各会派との予算ヒアリングを実施し、東京都の情報アクセシビリティ施策への対策、要約筆記派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実などを求めている活動してまいりました。以下、2025 年度の協会の活動を、「協会の対外活動」、「協会の対内活動と組織強化」に分けて報告いたします。

2. 協会の対外活動

2022 年 5 月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が公布・施行されました。多様なコミュニケーション手段を持つ中途失聴・難聴者にとっても、それぞれに適した補聴手段、ICT の活用などが図れるよう、情報アクセシビリティの環境向上につながることを期待されています。

東京都でも 2025 年 3 月に、同法と共通した理念を持つ「東京都障害者の情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する条例」(以下、障害者情報コミュニケーション条例)が制定され、7 月に施行されました。条例作成時のヒアリングには協会理事が参加し、中途失聴・難聴者の抱える問題を発言しました。また、2025 年 6 月に手話施策推進法が施行されました。同法第 11 条には、国及び地方公共団体の責務としては、「音声言語を習得した後に音声言語による意思疎通を行う上での困難を有することとなった者であって手話を必要とするものその他手話を必要とする者がその希望により手話を習得することができるよう、手話に関する情報の提供、相談及び助言、手話を学習することができる機会の提供その他の手話の習得の支援のために必要な施策を講ずるものとする。」とあり、国・地方公共団体による手話習得の支援が必要であることが明示されました。

協会が 7 月 3 日に実施した東京都福祉局との次年度予算懇談会では、①中途失聴・難聴者対象のコミュニケーション学習支援に関すること、②補聴器・人工内耳等に関すること、③災害に関すること、④東京都の会議体への参加に関すること、⑤要約筆記事業に関することなどについて要望しました。②の補聴器に関しては、東京都は身体障害者手帳を持たない高齢難聴者に補聴器助成を可能とし、2024 年度から「東京都高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」を自治体向けに実施し、2025 年度内には 23 区全て、市部・島しょ部でも半数以上で実施されました。しかし、18 歳以上 65 歳未満で手帳を持たない中途失聴・難聴者には助成がない地域がほとんどです。対象者や助成額の違いなど地域格差が大きいです。協会は、東京都に対し、聞こえにくさを抱える全ての中途失聴・難聴者に対する助成の実現を求めています。

東京都の意思疎通支援事業は、利用目的の公益性・広域性の要件が依然として維持されています。そのため、障害者団体の利用が制限され、協会の理事会や専門部の役員会などが利用の対象外となるなど協会活動を制約している状況は一向に改善されません。「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」は情報の個別性・同時性・地域格差の解消を基本理念に挙げていますし、東京都の「障害者情報コミュニケーション条例」もこの理念に沿った施策が盛り込まれています。協会では今後も東京都の意思疎通支援事業の見直しを強く求めていく所存です。

2025 年度も東京都福祉局主催の中途失聴・難聴者手話講習会、読話講習会、協会主催の中途失聴・難聴者手話講習会応用クラスや実践読話講習会などにおいて、協会会員の講習会運営担当者、講師、助手

が受講者の支援や、心理的サポートに力を尽くしました。2025 年は各区市町村での手話言語条例の施行、11 月に開催された「デフリンピック」などで、聴覚障害への関心は大きく高まっているものの、中途失聴・難聴者に対する理解はまだ十分ではありません。協会は、中途失聴・難聴者の困難さを周囲や広く社会に伝える活動として、各地での啓発講座への講師派遣、会報「協会ニュース」、ホームページ等による発信、新しい協会リーフレット・賛助会員のお誘いパンフレット配布などに力を入れてきました。その活動のひとつの柱が「耳マーク」の普及です。集い、例会、耳の日記念文化祭、各施設のイベントなどで、一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（全難聴）や協会作製の耳マークグッズの販売に力を入れました。「耳マーク」は聴覚障害への理解・配慮を求め、福祉のまちづくりを進める非常に大切なツールです。聞こえの環境整備を福祉のまちづくりの大きな動きにしていけるためにも、「耳マーク」と「ヒアリンググループマーク」（補聴器や人工内耳に内蔵されている磁気誘導コイルを使って利用できる施設・機器であることを表示するマーク）を一体とした普及活動をさらに継続していきます。

3. 協会の対内活動と組織強化

3. 1 対内活動と組織強化

協会は 2025 年 5 月に役員改選を行い、役員研修などを通じて協会活動に対する役員の理解を深め、理事会のもとに 4 つの専門委員会と 6 つの専門部、10 サークルを設けて活動しています。

東京都福祉保健財団助成事業として、「地域難聴者コミュニケーション啓発講座」や「高齢難聴者生きがい講座」の開催を継続することができ、これらの企画が、中途失聴・難聴者の交流を重ねる「場」として非常に重要なものであることを再認識する一年でした。

一方、協会の組織面では、協会の 2025 年度末の正会員の数が前年比 1 人減の 504 人と、ほぼ横ばいになっています。コロナ禍の期間中は、講座・講習会受講生への入会働きかけが難しかったこと、地域の中途失聴・難聴者団体・関係団体との交流が停滞していたことなどで、数年間会員数の減少傾向が問題になっていました。まだまだ協会活動の社会的な発信が十分でない状況は否めません。近年の協会行事は三田開催が中心でしたが、2025 年度は、多摩地域の会員の参加しやすさに配慮し、10 月例会の新入会員説明会＆歓迎会、12 月のクリスマス会、八王子市での集い開催などに力を入れて取り組みました。その効果もあり、多摩地域での行事には、多摩地域の各講習会受講者の参加も増えてきました。今後も会員数増加を協会活動の最重要課題として取り組みます。

3. 2 協会財政

決算報告にあるとおり、2025 年度は 283 千円の赤字決算となりました。当初予算は 1,187 千円の赤字でしたが、刊行物等販売での書籍「難聴を生きる」販売収入、講師等派遣収入が増えたことや、管理費支出を抑えるなど様々な形で努力したことが赤字幅を縮小できた要因となっています。協会財政安定のために「変動費（事業費）は事業収入や補助金収入・助成金収入を充当することを原則とし、固定費は会費収入、寄付金収入、雑収入を充当する」必要性に変化はなく、財政面からも引き続き会員の増加が課題となりますが、あわせて新たな収入源の確保を 2026 年度の協会の課題として考えていかなければなりません。

4. まとめ

コロナ禍後、対面で交流する機会の重要性が再認識されました。特にコミュニケーションのニーズを抱える当協会では、会員同士がどのようにして持続可能で人間らしい生活を維持していけばよいかという、大きな課題があります。安心して対面で交流したり、コミュニケーション学習をしたりすることを期待する会員の皆さまのご希望に十分応えきれているとはまだいえません。理事会や専門委員会・専門部では対面・オンライン等での活動実績を積み上げながら、会報「協会ニュース」や協会ホームページ等を通じて協会活動を社会へ発信する努力を続けていきます。

今後も予期せぬ自然災害や人道上の緊急事態が、中途失聴・難聴者の毎日の生活や協会の活動に様々な影響を与えることが予想されます。このような状況への対応には、会員の皆さま、役員一同が力を合わせる何より大切と考えます。様々な課題を抱えた協会ですが、2026 年度の協会への会員の皆さまのご支援を改めてお願いする次第です。

2025 年度事業報告(一覧)
(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	延べ人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案	人工内耳に関する講座	2026 年 1 月 17 日	早稲田速記医療福祉専門学校	47
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	月 1 回程度	東京都障害者福祉会館 他	305
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	年 6 回	YouTube 限定配信	288
	実践読話講習会	年 17 回	東京都障害者福祉会館	190
	地域難聴者コミュニケーション啓発講座	年 3 回	東京都障害者福祉会館 他	80
	地域福祉相談支援ゼミ(手話講習会応用クラス三田)	年 20 回	東京都障害者福祉会館	553
	手話講習会応用クラス多摩	年 20 回	東京都多摩障害者スポーツセンター	355
	例会	年 12 回	東京都障害者福祉会館 他	452
	高齢者対象「手を動かそう」	年 12 回	東京都障害者福祉会館	135
	講師等派遣	中途失聴・難聴者向け手話指導者養成コース・中野区中途失聴・難聴者の会・世田谷区中途失聴・難聴者の会「はこべ」・中途失聴・難聴者「つばさの会」府中・聴力障害者情報文化センター 他		29
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集・提供事業及び他団体との連絡調整	会報「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所 他	160
	協会ホームページ運営	随時更新	当会事務所 他	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	随時	当会事務所	25
	第 37 回東京都中途失聴・難聴者の集い	2026 年 2 月 15 日	東京たま未来メッセ	221
中途失聴者・難聴者に係る相談・支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 8 回	東京都障害者福祉会館	111
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	27
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	東京都障害者福祉会館 他	108
中途失聴者、難聴者の文化、芸術、スポーツの振興を図る事業	文化系活動	月 1～2 回	東京都障害者福祉会館 他	2461

2. その他の事業

自動販売機による委託販売(10 か所 11 台)

東京都庁第一本庁 4 階南側・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園・東京しごと財団(2 台)・東京都多摩職業能力開発センター八王子校・東京都西多摩保健所・東京都中川水再生センター・東京都中央卸売市場食肉市場

(新規 8/21 設置)東京都江戸東京博物館・(新規 11/27 設置)東京城東地域中小企業振興センター

2025 年度事業報告

事務局

1. 体制

事務局長: 石川千鶴 職員: 石田豊子・橋本美和・松枝朋美

2. 活動報告

- ・理事会 4/19、5/24、6/28、7/26、8/23、9/27、10/25、11/22、12/20、1/24、2/28、3/28
- ・東京都福祉局との懇談会 7/3 (18 名)
- ・人工内耳に関する講座 1/17(午前 19 名、午後 28 名)
- ・「字幕付胃検診」受付 9/6(19 名)
- ・協会ニュース発送 毎月第 2 金曜日 12 回
- ・「第 55 回耳の日記念文化祭」参加 2/21・22(会員協力 5 名)
- ・「TOKYO みみカレッジ 2025」参加 9/13(会員協力 10 名)
- ・事務局会議 4/21、5/19、6/16、7/21、9/29、10/20、11/17、12/15、1/19、3/16
- ・例会 原則毎月第 4 日曜日 14 回 場所: 東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数
4 月 27 日	2025 年度事業説明会	35
5 月 25 日	通常総会	394 (出席 48)
6 月 1 日	もっと補聴器を知ろう 選び方と快適に使うためのヒント(多摩)	21
6 月 22 日	森せい子氏講演会「中途難聴・失聴者のあるある体験談」 ～聴覚障害のしんどさをプラスに変える～	43
7 月 24 日	新しい聴こえの集い Vol.1	19
7 月 27 日	私の作品展とマルシェ	52
8 月 4 日	新しい聴こえの集い Vol.1	15
9 月 28 日	字幕のチカラを信じて～誰もが楽しめるひらかれたものに～	42
10 月 19 日	新入会員説明会 & 歓迎会(多摩)	49
11 月 23 日	ヒアリンググループとロジャー、ときどきオーラキャストのはなし	34
12 月 14 日	クリスマス会(多摩)	42
1 月 25 日	「さわってみよう! AED」& クイズで学ぶ減災・防災	16
2 月 15 日	第 37 回東京都中途失聴・難聴者の集い	221
3 月 22 日	聞いてみたい・話してみたい・要約筆記	36

(多摩)は東京都多摩障害者スポーツセンター

・研修協力

- ①東京都登録要約筆記者の会(登要会)研修会(10/17)
- ②東京都要約筆記者養成講習会現場実習(1/29、2/5)

・その他

- ①東京都スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業
「スマートフォン活用支援プログラム」(10/6、10/20、11/3、11/17)
- ②東京都多摩障害者スポーツセンター「障害者週間記念事業」(12/7)
- ③ダイバーシティ研究所「災害対応マニュアル作成に向けてのワークショップ」(11/17)、検討会(1/29)
- ④家電製品交流会(12/5)

事業委員会

1. 体制

委員長: 宇田川芳江 委員: 石川千鶴・小川光彦(5 月まで)・前川信・丸山由美子・森井美幸(6 月より)・渡辺江美(6 月より)

2. 活動報告

- ・委員会開催 6/24、12/9、12/19 いずれもオンラインで開催
- ・協会例会担当 6月例会「もっと補聴器を知ろう 選び方と快適に使うためのヒント」(6/1)
- ・行事協力 人工内耳に関する講座(1/17)
- ・講座等開催 場所: 東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
10月5日	実践コミュニケーション講座	8	12月7日	やりなおし手話講座	6
11月2日	やりなおし手話講座	15	3月1日	やりなおし手話講座	8
12月6日	AURACAST説明会	24			

3月1日は東京都多摩障害者スポーツセンター

3. 事業報告

I 助成事業

(1) 東京都福祉保健財団助成事業

- ① 実践読話講習会
- ② 高齢難聴者生きがい講座
- ③ 地域福祉相談ゼミ〔手話講習会応用クラス三田〕
- ④ 地域難聴者コミュニケーション啓発講座(運営担当: 組織部)

II 協会受託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1) 聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都教育委員会受託事業)

III 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1) 手話講習会応用クラス多摩
- (2) 高齢者対象「手を動かそう」

4/14(13名)、5/12(12名)、6/9(14名)、7/14(6名)、8/11(13名)、9/8(11名)、10/13(15名)、
11/10(11名)、12/8(11名)、1/12(11名)、2/9(16名)、3/9(9名)

IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

- (1) 東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)
- (2) 東京都読話講習会
- (3) 東京都手話通訳等養成講習会(中途失聴・難聴者対象手話指導者養成コース)
- (4) 講師等派遣事業

- ・世田谷区中途失聴・難聴者の会「はこべ」(6/16 から年 6 回)
- ・東京都手話通訳等養成講習会
 - 手話指導クラス I (奉仕員養成) (6/18 昼・夜)
 - 地域手話通訳者クラス(7/23 昼・夜)
 - 手話通訳者実践クラス(1/14 昼・夜)
- ・聴力障害者情報文化センター(8/3)
- ・中野区要約筆記の会「はやて」(9/7)
- ・株式会社 precog(9/25)
- ・大田区立障がい者総合サポートセンター(11/8)
- ・中野区聴覚障害者情報活動センター(11/15)
- ・横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設(9/10、11/4)
- ・東村山市社会福祉協議会(11/7、11/14、11/21)
- ・八王子市要約筆記養成講習会(8/8、12/19)
- ・中途失聴・難聴者「つばさの会」府中(2/14)
- ・中野区中途失聴・難聴者の会(9/23、11/24、3/20)
- ・中央区要約筆記啓発講座(1/20、1/27、2/3、2/10)
- ・東村山要約筆記サークル ゆいま〜る(2/17)
- ・八王子市心身障害者福祉センター(3/25)

広報委員会

1. 体制

委員長: 石川千鶴 委員: 小島敦子・三宅初穂・村田美和・安井彩乃 オブザーバー: 宇田川芳江

2. 活動報告

(1) 委員会開催

4/11、6/17、8/21、10/21、12/16、2/24 全6回（8月以外はオンラインで開催）
2025年度より、隔月開催とした。

(2) 協会ホームページ

- ①フェイスブックとホームページの連携により、トピックや新着がいち早くアップされるため、申込数に好影響となっている。
- ②ショッピングカートの更新を計画したが、事務局で送料の一律化は不可能と判断し従来どおりとした。

(3) 会報「協会ニュース」

- ①会報編集部員が年度途中で減少したため、当面は広報委員会2名が原稿チェックを担当した。元要約筆記者の新部員が決定し、年度途中から稼働した。

(4) 協会パンフレット・賛助会員パンフレット

- ①情報が古く、個人の顔や要約筆記投影場面の写真などで課題があったパンフレットを更新するため、内容を精査、検討した。理事会で予算・内容の承認を受け、2月の集いで参加者に配付した。

防災委員会

1. 体制

委員長: 新谷友良 委員: 生田真弓・前川信・米倉光代

2. 活動概要

協会定款第4条(4)「災害救援活動」、第5条(4)「緊急・災害時における聴覚障害者の救助・救援に関する事業」の具体化の活動を行った。

3. 活動詳細

- ① 2026年度東京都施策・予算に関する懇談会で防災に係る政策について協議した。
- ② 協会10月例会で、2025年度の防災委員会の活動を紹介した。
- ③ 「個別避難計画」や「避難行動要支援者」について概要調査を行った。
- ④ 緊急情報の配信方法について協議した。
- ⑤ 会報「協会ニュース」に『防災コラム』の掲載を再開した。

4. 活動報告

- (1) 委員会開催 4/23、6/25、12/29（6月以外はオンラインで開催）

コミュニケーション委員会

1. 体制

委員長: 小川光彦 委員: 天野久子(6月より)・石川千鶴(9月まで)・小谷野依久・安井彩乃

2. 活動報告

(1) 委員会開催 原則第3水曜日夜

4/16、5/21、6/18、7/16、8/20、9/10、10/15、12/17、1/21、3/18 いずれもオンラインで開催

- (2) コミュニケーションに関するリーフレットを作成し、協会ホームページに掲載、無料でダウンロードできるようにした。関係者の集まるイベント等で配布し、啓発に努めた。

- (3) 次の行事に展示協力し、中途失聴・難聴者のコミュニケーションの問題等の啓発や、役立つ情報の提供に努めた。

・9月15日 聴覚フェスティバル(武蔵野大学)

(4) 文字支援プロジェクトチーム

美術館・博物館向けアンケートを実施し、結果を会報に掲載した。

美術館・博物館のアクセシブルな企画情報などを会報に掲載した。

- (5)3月28日 おしゃべりな能楽堂！（神楽坂の矢来能楽堂）協力
 (6)協会例会担当 9月例会「字幕のチカラを信じて～誰もが楽しめるひらかれたものに～」(9/28)
 (7)その他、協会のコミュニケーション関係の例会・集い等への参加協力に努めた。

要約筆記部(休部)

福祉対策部

1. 体制

部長：小谷野依久 副部長：田村玲子・渡辺究

部員：青木典子・稲井泰子・鈴木雅弘・西山萌・橋爪由利・錦戸信典

オブザーバー：小川光彦

2. 活動報告 場所：東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月15日*	部会	5	10月8日	ゆるプチ学習会 「印象力アップ講座」	36
4月10日*	企業協力	5	11月16日*	部会	6
5月22日*	ゆるプチ学習会 「世界の補聴器さんぽリターンズ」	32	11月23日	協会例会担当	4
5月31日	野外活動 とともにフェスタ2025	11	12月25日*	部会	3
8月8日*	部会	4	12月30日*	ゆるプチ学習会 「音から隔てられて座談会」	15
9月15日	野外活動 聴覚フェスティバル出展協力	4	1月15日	企業協力	7
9月24日*	ゆるプチ学習会 リハーサル	7	1月20日*	部会	2
9月25日*	ゆるプチ学習会 「手話でひろがる！ビューティーワールドを体験」	50	3月21日*	部会	4

5月31日は迎賓館、9月15日は武蔵野大学

*印はオンライン開催

手話対策部

1. 体制

部長：石川千鶴 副部長：中村貴子 会計：芦川君代 運営委員：西山萌

部員：赤坂由起、五十嵐郁子、池田ひろみ、市川珠江、入野雅子、内山伸子、大堀亮子、大西玲子、岡田修、笠木淳子、河合優子、神尾優子、北島恵子、久保寺美華、小須田希海、小林道子、小谷田路代、副島香絵、地引千恵子、惣田泰正、長沼知子、中村麻子、中村みずほ、原島美江、藤本澄子、丸山ききょう、丸山利江、安井彩乃、山田恵美子、ランダース聡子 34名

2. 活動報告 場所：東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月27日	部会	20	9月8日*2	部会	20
4月27日	スタッフ研修(例会)	19	10月20日*1	部会	23
6月9日*2	部会	17	11月24日*	三田講座(多摩)	33
6月22日	協会例会担当	41	12月7日*	障害者週間記念事業協力	9
7月13日	スタッフ研修	20	12月8日*2	部会	18
9月7日	ミニ手話講座(三田)	34	3月2日	部会	15

*1は東京都障害者福祉会館とオンライン、*2は東京都多摩障害者スポーツセンターとオンラインのハイブリッド開催
11月24日、12月7日は東京都多摩障害者スポーツセンター

- ・役員会 : 12/23(オンライン・4名) など
- ・ミニ手話講座 打合せ : 5/12 (11名)、6/22 (8名)、7/13 (10名)など
- ・6月例会打合せ : 6/12(7名)

会報編集部

1. 体制

部長:小島敦子 会計:山田恵美子

部員:岩崎幣介・菅波尚子(6月退部)・滝沢佳子・橋爪由利・松田順子(1月入部)

アドバイス:三宅初穂(9月から3月まで)

2. 活動報告

(1)会報「協会ニュース」の編集

①編集会議 頁構成・投稿原稿校正・作業スケジュール・特集・不足原稿などの確認、企画についての話し合い。

・オンライン会議 4/12、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/11、11/8、12/13、1/10、2/14、3/14 全12回
(8月、11月、2月はメール会議)

②初校校正 原稿の確認、修正、レイアウトなどの最終確認作業。 場所:小金井婦人会館 他

4/23、5/28、6/25、7/23、8/27、9/24、10/29、11/26、12/24、1/28、2/25、3/25 全12回

(2)投稿説明会 7/27(部員3名、参加者24名) 場所:東京都障害者福祉会館

組織部

1. 体制

部長:前川信 副部長:井桁洋子・丸山由美子 会計:青木房子(3月退任・退部)

部員:有馬富江・岩崎幣介・上村直美(7月退部)・土屋奈保子(6月入部)

2. 活動報告 場所:東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月12日	部会	7 (見学1)	10月19日	協会例会担当 「新入会員説明&歓迎会」	41
4月25日	ネットワークニュース134号発行		11月8日	部会	7
5月10日	部会	4	11月30日	地域コミュニケーションコミ啓発 講座「聞こえない・聞こえにくい方の コミュニケーションの工夫」	14
6月15日	部会	8	12月13日	部会	6
6月15日	地域コミュニケーションコミ啓発 講座「スマホを使いこなそう」	20	12月26日	ネットワークニュース136号発行	
7月12日	部会	6	1月10日	部会	7
8月9日	部会	6	1月25日	地域コミュニケーション啓発講座 会場下見	2
8月22日	ネットワークニュース135号発行	6	2月14日	部会	6
9月13日	部会	7	3月7日	地域コミュニケーションコミ啓発 講座「『聞こえない』をチカラに変える」	44
10月11日	部会	7	3月14日	部会	7

10月19日は東京都多摩障害者スポーツセンター 11月30日はスマイルなかの

1月25日、3月7日は町田市民ホール

3. その他

2025年11月現在の「東京都補聴器購入助成事業」における各区市町村の実態を調査した。

■ 実年部

1. 体制

部長: 中村麻子 副部長: 山下和子・長沼知子 会計: 長澤道代 部員: 五十嵐郁子・小笠原晶子・笠木淳子

2. 活動報告 場所: 東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月30日	部会	8	12月11日	部会	6
5月30日	10月企画下見(東京ジャーミイ)	3	1月19日	企画下見(西新宿)	3
6月16日	部会	5	2月1日	2月企画事前準備・部会	5
6月30日	部会	6	2月13日	2月企画「雛祭りカラーのハーバリウム作り」	19
9月19日	9月企画「笑いの力で元気になる！」(落語DVD鑑賞)	18	2月13日	部会	5
9月19日	部会	5	3月16日	部会	5
10月30日	10月企画「ランチと東京ジャーミイ見学」	22	3月25日	6月企画下見(皇居東御苑・楠公レストハウス他)	6
10月30日	部会	5			

10月30日はランチ:「蒸籠味坊」 部会: 東京ジャーミイ内会議室

■ 女性部

1. 体制

部長: 明田美奈子 会計: 佐藤緑

部員: 今井節子・大江千枝・小須田希海・高田香苗・寺田由紀子・峯元弘子

2. 活動報告 場所: 東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月5日	部会	5	10月4日	部会	3
6月7日	6月企画「コグニサイズ健康教室」	22	11月1日	11月企画「おしゃべりカフェ」	17
7月5日	部会	3	12月6日	部会	4
8月2日	部会	5	2月7日	部会	5
9月6日	9月企画「防災ワークショップ」	25	3月7日	3月企画「講演会 高井洋氏」	60

■ 青年部(休部)

サークル

【手話サークル 三田昼】

1. 体制 代表: 中村麻子 副代表: 石川徳衛 会計: 村田潮 総務: 川村恵子・酒向美樹子
サポートスタッフ: 加藤道子・金森滯子・長尾征子・山本慶子 会員数: 35 名
2. 活動日時 毎月第 2 土曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
毎月第 4 土曜日 10 時～11 時 30 分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 五十嵐郁子氏
5. 活動報告 ・手話学習は毎月 2 回、24 回開催した。
・12 月の学習日のうち 1 回は、はクリスマス交流会。(内容: 五十嵐郁子講師考案の手話ゲーム、役員によるグループ対抗〇×クイズ、じゃんけん大会のほか、会員のピアノ伴奏で「赤鼻のトナカイ」を手話で歌った)

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 代表: 渡辺美恵子 会計: 山本慶子 総務: 前田喜久子・室容子 監査監事: 松田康子 会員数: 20 名
2. 活動日時 毎月第 1・第 3 土曜日 18 時～20 時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 宮本正明氏 安雙八重子氏
5. 活動報告 2025 年度から講師 2 名体制となる。
手話学習会 17 回(自主学習会 3 回含)、交流会 3 回(全体会含)を開催。
自主学習会は初めての試みであったが、復習を中心に教え合うことで、会員相互の親睦も図れた。

【多摩手話サークル】

1. 体制 代表: 青木房子 副代表: 有馬富江 会計: 鈴木委子 会員数: 13 名
2. 活動日時 毎月第 2 木曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 永井邦子氏
5. 活動報告 ・講師学習日: 4/10、5/8、6/12、7/10、9/11、10/9、11/13、12/11、1/8、2/19 計 10 回
・その他: 10/23(講師を交えて会員の交流(食事会)、12/18(クリスマス会)、3/12(反省会)

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 代表: 小島敦子 会計: 岩下敏美 総務: 大堀亮子・渋谷靖子 庶務: 新井京子 会員数: 21 名
2. 活動日時 毎月第 1・第 3 火曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
※原則として東京都多摩障害者スポーツセンターだが、休館日や会場が取れない場合は、立川近辺の会場にて開催
4. 講師 真藤千枝氏
5. 相談役 本橋由美子氏
6. 活動報告 ・講師学習会:
真藤講師学習 5/20、6/3、7/1、9/16、10/7、11/4、12/2、1/20、2/3、3/3 計 10 回
本橋相談役学習 6/17、7/15、10/21(小島代表が代理)、2/17 計 5 回
・役員会: 5/20、11/18、12/2、3/17
・その他: 4/15(総会)、9/2(イス体操)、11/18(講演会)、12/16(クリスマス会)
・休会: 5/6(GW)、8 月(夏休み)、1/6(年始)

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表: 堀川すみれ 副代表: 渡辺美恵子 会計: 宮脇百合子 会員数: 13 名
2. 活動日時 毎月第 2 木曜日 13 時 30 分～16 時(8 月は夏休み)
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 石井幸子氏(12 月まで)
松本あかね氏(1 月より)
5. 活動報告 毎回講師の課題に沿って実施します。季節に合ったものなど、各自でモチーフを持参。
絵手紙に拘らず、自由に人形作りや版画など、講師の工夫で毎回楽しく受講ができました。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 会計:高山美穂 会員数:8名
2. 活動日時 毎月第1水曜日 ただし、12月はお正月花生け込みのため三田障館利用最終日
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 飯野理堯氏
5. 活動報告 2025年度も各種いけばな展を拝見し勉強になりました。2月開催の「耳の日記念文化祭」に向け、勉強してまいりましたが、会場のスペースの関係で出展できず残念でした。

【昼の読話サークル】

1. 体制 代表:須合誠子 会計:古郡恵子 自主学习係:前田喜久子 会員数:10名
2. 活動日時 毎月第1・第4水曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 三宅初穂氏(第1水曜日のみ)
5. 活動報告 講師学習会:4/2(10)、5/7(7)、6/4(10)、7/2(11)、9/3(7)、10/1(9)、11/5(9)、12/3(9)、1/7(8)、
2/4(9)、3/4(9)
自主学习会:4/23(9)、5/28(8)、6/25(8)、9/24(6)、10/22(5)、11/26(6)、1/28(7)、2/25(5)
*()内は参加者数

【多摩月曜手話サークル】

1. 体制 代表:石川千鶴 副代表:柿崎栄子 会計:芦川君代・桑田幸子 会員数:19名
2. 活動日時 毎月2回 月曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター・オンライン
4. 講師 田中陽子氏
5. 活動報告 ・講師指導:5/26、6/23、8/25、9/29、10/27、11/17、1/26、2/9
・対面学習:4/22(総会)、7/28、12/22、1/27、3/23
・オンライン:4/7、5/12、6/9、7/7、9/8、10/6、11/10、12/8、3/9

【多摩手話コース「てと〜て」】

1. 体制 代表:滝沢佳子 副代表:牛窪睦 会員数:14名
2. 活動日時 毎月第1・第3木曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 小金井市婦人会館・東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 活動報告 4/17、5/15、6/5、6/19、7/3、7/17、8/7、9/4、9/18、10/2、10/16、11/6、11/20、12/4、12/18、
1/15、2/5、2/19、3/5、3/19
障害者手帳を持っている参加者の全員がパソコン要約筆記の申請ができるようになり、これまで代表が担当していた機材や要約筆記の申請や確認を新たに担当する会員が増えてより活動しやすくなりました。2025年度は小金井公園たてもの園での交流会(5/1)、国立市で食事会を行いました。協会12月例会のクリスマス会での発表もありました。見学者は年間5名。2025年度末に退会者があり、入会が増えてほしいと思います。

【多摩読話サークル】

1. 体制 代表:浅沼久美子 副代表:吉川恵津子 会計:竹島茂子 会計監査:小張幸子
総務:近藤好子・山内ふみ子 庶務:惣田泰正 相談役:小島敦子 会員数:20名
2. 活動日時 毎月第1・第3金曜日 10時～12時
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター
4. 講師 三宅初穂氏
5. 活動報告 年度初めの4月に総会を開催している。学習活動は月2回(第1・第3金曜日)実施しており、そのうち第3金曜日は読話講師による学習、第1金曜日は会員相互による自主学习を行っている。これまでの学習回数は、講師による学習が10回、会員相互による自主学习が8回で、合計18回である。互いの口形や読み取り方などを学ぶとともに、学習活動を通して会員同士の交流を深めている。